

平成21年5月26日

各位

新日鉱グループ

 日鉱金属株式会社

電材加工事業本部加工事業部

平成21年上期の金属加工製品の生産予定について

品 目	単 位	平成21年上期 生 産 予 定	平成20年下期 生 産 実 績	平成20年上期 生 産 実 績
伸 銅 品	t／期 (t／月)	16,020 (2,670)	7,980 (1,330)	19,104 (3,184)
特 殊 鋼 製 品	t／期 (t／月)	540 (90)	480 (80)	918 (153)
合 計	t／期 (t／月)	16,560 (2,760)	8,460 (1,410)	20,022 (3,337)
(参 考) 製品長さ計	万m／期 (万m／月)	3,228 (538)	1,164 (194)	3,288 (548)

【解説】

世界同時不況の影響を受け、昨年後半より大幅に受注が落ち込んでおりましたが、中国の景気刺激策の効果等を背景に、3月以降在庫調整が進み、6月には昨年ピーク時の約80％程度に回復する可能性も出てまいりました。しかしながら、需要の勢いは弱く、上期後半から下期にかけての見通しは極めて不透明であります。

そのため、顧客各社においては、在庫を極力抑えつつ、厳しい競争に対応するため、非常に短納期で発注するという傾向が一層強まっております。当社は、国内外のコイルセンターの少量・短納期デリバリ機能をフルに活用し、独自に開発した高機能銅合金（コルソン系合金、ギガロイ、ハイパーりん青銅）から汎用品（黄銅錫メッキ品など）までの幅広い製品群をマーケットに供給して参ります。

また、主力工場である倉見工場、中国現地法人の日鉱金属（蘇州）の精密圧延技術、日鉱富士電子（株）におけるメッキ、プレスを含めたグループの総合力を生かし、厳しさを増す顧客要求にフィットした材料の供給に努めて参ります。

平成21年上期は、金属加工製品全体では、16,560^t（対前期比 +96％、対前年同期比 ▲17％）の生産を計画しております。

以 上

お問い合わせ先： 日鉱金属株式会社
総務部総務担当 河田， 檜崎
TEL：03-5573-7223